

横浜市感染症発生動向調査報告（令和5年1月）

《今月のトピックス》

- 新型コロナウイルス感染症は横ばい～減少傾向ですが、引き続き今後の動向に注意が必要です。
- インフルエンザ、感染性胃腸炎などの感染症が増加しています。
- 梅毒は20代～30代の若い世代を中心に、高い水準で続いています。妊婦の報告もみられます。

◇ 全数把握の対象

＜1月期に報告された全数把握疾患＞

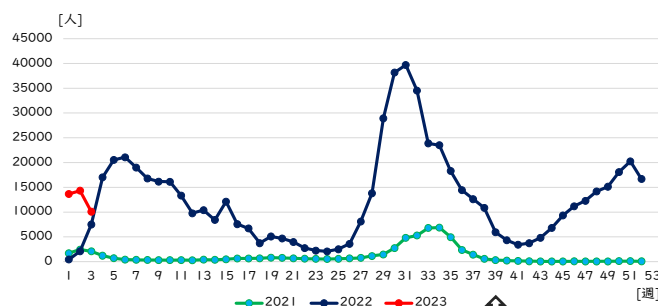
腸管出血性大腸菌感染症	5件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
E型肝炎	4件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1件
つつが虫病	1件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2件
マラリア	1件	侵襲性肺炎球菌感染症	5件
レジオネラ症	1件	水痘(入院例に限る)	1件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3件	梅毒	18件
急性脳炎	1件		

- 腸管出血性大腸菌感染症**:10歳代～30歳代で、血清群O26が3件、O157が1件、不明が1件です。経口感染と推定される報告が3件、感染経路等不明の報告が2件ありました。
- E型肝炎**:30歳代～60歳代で、経口感染と推定される報告が3件、感染経路等不明の報告が1件ありました。
- つつが虫病**:60歳代で、国内での動物・蚊・昆虫等からの感染と推定されています。
- マラリア**:50歳代で、海外での動物・蚊・昆虫等からの感染と推定されています。
- レジオネラ症**:80歳代で、感染経路等不明です。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**:40歳代～80歳代で、感染経路等不明の報告が3件ありました。
- 急性脳炎**:10歳代未満で、飛沫・飛沫核感染と推定されています。病原体は不明です。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:60歳代で、血清群A群が1件、B群が1件です。飛沫・飛沫核感染または経口感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件ありました。
- 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:30歳代で、性的接触(同性間)と推定される報告が1件ありました。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症**:10歳未満～80歳代(ワクチン接種歴4回1件、不明1件)で、いずれも感染経路等不明です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症**:10歳未満～90歳代(ワクチン接種歴4回1件、不明4件)で、膿瘍由来と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が4件ありました。
- 水痘(入院例に限る)**:30歳代(ワクチン接種歴2回)で、接触感染と推定されています。
- 梅毒**:10歳代～70歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期5件、早期顕症梅毒Ⅱ期5件、無症状病原体保有者8件の報告がありました。性的接触による感染と推定される報告が16件(異性間10件、同性間4件、詳細不明2件)、感染経路等不明の報告が2件ありました。

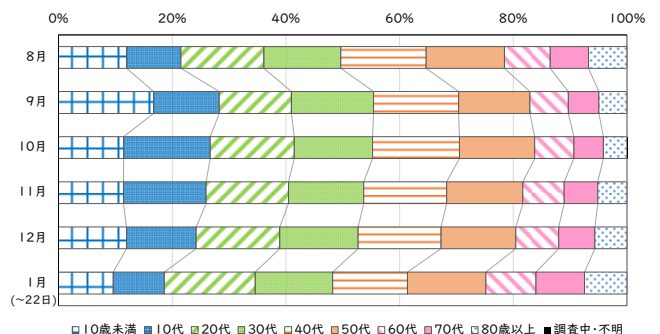
◇ 新型コロナウイルス感染症(報道発表ベース)

2022年第51週～2023年第3週に横浜市から報道発表がありました症例は74,974件でした。

◆ 横浜市 新型コロナウイルス感染症関連データ <https://data.city.yokohama.lg.jp/covid19/>



1 報告数の推移



2 年齢層別患者割合

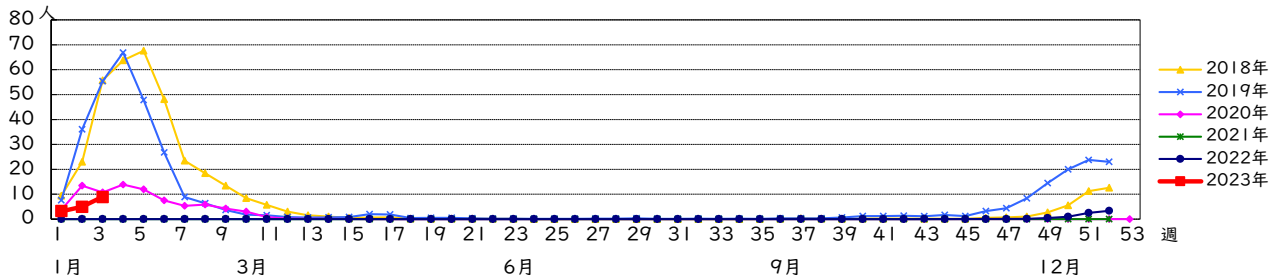
※ 2022年9月26日(第39週)より集計方法を変更しています(白抜き矢印)

報告週対応表	
第51週	12月19日～12月25日
第52週	12月26日～1月1日
第1週	1月2日～1月8日
第2週	1月9日～1月15日
第3週	1月16日～1月22日

◇ 定点把握の対象

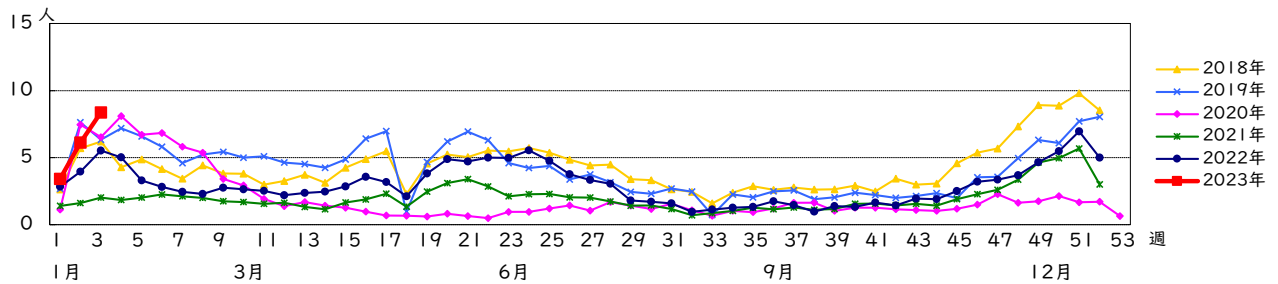
1 インフルエンザ:

第46週以降増加しており、第51週2.55、第52週3.37、2023年第1週3.23、第2週4.95、第3週8.89です。第51週に流行開始の目安となる1.00を上回り、インフルエンザ流行期に入りました。(詳細は、横浜市インフルエンザ流行情報4号をご覧ください)



2 感染性胃腸炎:

第45週以降増加に転じ、第51週6.94、第52週5.00、2023年第1週3.40、第2週6.12、第3週8.36です。



3 性感染症(12月)

性器クラミジア感染症	男性:28件	女性:16件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:3件	女性:6件
尖圭コンジローマ	男性:5件	女性:1件	淋菌感染症	男性:17件	女性:2件

4 基幹定点週報

	第51週	第52週	第1週	第2週	第3週
細菌性髄膜炎	0.25	0.25	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(12月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	11件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

1月期(2022年第51週～2023年第3週)に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点31件、内科定点1件、基幹定点1件、定点外医療機関からは1件でした。

2月3日現在、表に示した各種ウイルスの分離6株と遺伝子15件が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2022年第51週～2023年第3週)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	イン フル エン ザ	そ の 他
インフルエンザウイルス AH1型pdm09	1 -			
インフルエンザウイルス AH3型			4 -	
アデノウイルス2型	1 -			
アデノウイルス型未同定	- 1			
ヒトパラインフルエンザウイルス1型	- 1			
ヒトパラインフルエンザウイルス3型	- 3	- 1		- 1
RSウイルス	- 1			
ヒトメタニューモウイルス	- 1			
ヒトコロナウイルス OC43型		- 1		
ライノウイルス	- 2		- 1	- 1
ボガウイルス	- 1			
合 計	2 10	- 2	4 1	- 2

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

1月期(2022年第51週～2023年第3週)の「菌株同定」の検査依頼は、基幹定点からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌1件、侵襲性肺炎球菌1件、劇症型溶血性レンサ球菌1件、黄色ブドウ球菌1件、サルモネラ属菌1件、破傷風菌1件でした。非定点からの依頼は、結核菌群1件でした。保健所からの依頼は、腸管出血性大腸菌4件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌3件、侵襲性肺炎球菌1件、侵襲性インフルエンザ菌3件、劇症型溶血性レンサ球菌1件、レジオネラ属菌1件でした。

「分離同定」の検査依頼は、基幹定点から熱帯熱マラリア1件でした。

「小児サーベイランス」の検査依頼は胃腸炎3件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査（2022年第51週～2023年第3週）

菌株同定		項目	検体数	血清型等	
医療機関	基幹定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	1	<i>Enterobacter cloacae</i> complex (1)	
		侵襲性肺炎球菌	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 15A (1)	
		劇症型溶血性レンサ球菌	1	B群溶血性レンサ球菌 VIII型 (1)	
		黄色ブドウ球菌	1	<i>Staphylococcus aureus</i> 表皮剥離毒 B産生 (1)	
		サルモネラ属菌	1	<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (1)	
		破傷風菌	1	<i>Clostridium tetani</i> 破傷風毒素遺伝子 (-) (1)	
	非定点	結核菌群	1	検査中 (1)	
	保健所	腸管出血性大腸菌	4	0157 : H7 VT2 (1) 、 026 : H11 VT2 (1) 、 048 : H45 VT2 (1) 、 05 : H- VT1 VT2 (1)	
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	3	<i>Klebsiella pneumoniae</i> (1) 、 <i>Enterobacter cloacae</i> complex (1) 、 <i>Klebsiella aerogenes</i> (1)	
		侵襲性肺炎球菌	1	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 24F型 (1)	
侵襲性インフルエンザ菌		3	<i>Haemophilus influenzae</i> f型 (1) 、 <i>Haemophilus influenzae</i> UT (2)		
劇症型溶血性レンサ球菌		1	A群溶血性レンサ球菌 TUT MUT (1)		
レジオネラ属菌		1	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (1)		
分離同定	材料	項目	検体数	同定、血清型等	
医療機関	基幹定点	全血	熱帯熱マラリア	1	LAMP法 <i>Plasmodium falciparum</i> 陽性 (1)
小児サーベイランス	材料	臨床症状	検体数	同定、血清型等	
小児科定点	直腸ぬぐい	胃腸炎	3	<i>Campylobacter jejuni</i> (1) 、 培養陰性 (2)	

【 微生物検査研究課 細菌担当 】